

島鉄が4月から 運賃2割値上げ

鉄道とバス

九州運輸局は26日、島原鉄道(島原市)が申請していた鉄道と路線バスの旅客運賃上限変更の申請を認可した。同社は4月からそれぞれ約20%値上げする。これに伴い、初乗り運賃はい

長崎市、ホテルインディゴ長崎クラバーストリート

同ホテル(電0955・8995・9510)。(田中沙織)

ずれも30円増の180円となる。消費税増税を除いた同社の運賃引き上げは鉄道で20年ぶり、路線バスで29年ぶり。同社は人口減少や燃料費高騰などを理由に昨年12月、旅客運賃上限変更の認可を申請していた。

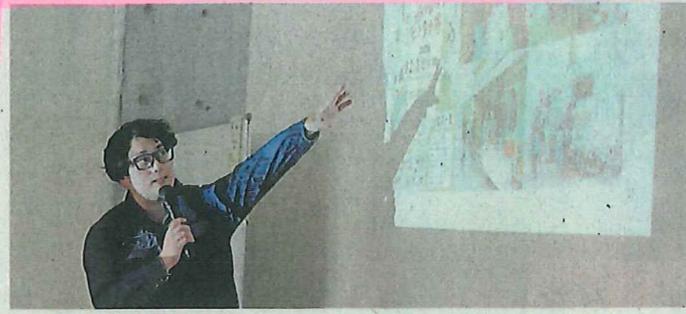
運賃改定に伴い、同社は企画乗車券についても4月から一部値上げを行う予定で、同社の鉄道と路線バス、フェリーが1日乗り放題になる「1day pass」は、現行の3千円から3700円に値上げする。(緒方秀一郎)

商店街イベント成果発表

県、地域の核目指す支援事業

地域コミュニティの核となる商店街づくりを指す、県の支援事業の成果発表会が26日、県庁で開かれた。県内の2商店街が、地域の特性を生かしたイベントなどを紹介した。

県は本年度、県内の商店街関係者を対象に、商店街でのイベントを紹介する



取り組みを報告。本年度は約30年前まで地域で開かれていた夜市の復活に乗り出し、約50店舗が並ぶ中、にぎわった様子を紹介した。大山さんは「商店街の持続可能性を上げていくことが、まちの発展や持続性にもつながる。引き続き取り組みたい」と語った。

五島市中心部の商店街でつくる福江商店街連盟は、若者や学生、観光客を新たなターゲットとして取り込むと、各店が商品や体験メニューを100円で提供する「100円商店街」を昨年12月に開催。買い物客のアンケートでは「次回も来たい」と答えた割合が99%を超えたという。イベントで駐車場不足などの課題も見つかった一方で、商店街の区域を越えた会員同士の連携意識も高まったと



協定書を交わしたと山上町長

トイレを利用する。同店で備蓄(5000リットル)や保存食1200用トイレ210物資を被災者にする。

同町役場では山上広信町締結は、町の実、強化に謝の言葉を述べ樋口益次郎社長いつも準備、活していただけることがう語った。(松

経済かわ

長崎市で誘